

鶏肉情勢

令和3年6月14日 更新

全農チキンフーズ(株)

項目	内容
供給	1. 国内 (1) 生産・処理動向調査((一社)日本食鳥協会令和3年5月下旬実施)によると4月の推計実績は処理羽数61,996千羽(前年比100.2%)・処理重量188千ト(同101.3%)となり、前月末時点での出荷計画に比べると羽数は0.9%下方修正も重量では0.5%増と上方修正された。5月の出荷計画は前月時点の計画より処理羽数で0.7%、処理重量で0.4%上方修正、6月は同様に処理羽数では0.1%、処理重量で0.4%それぞれ下方修正されたがほぼ安定した出荷が続くと予測される。 (2) 5月以降も処理羽数・重量共に1%前後の伸びがある見通しで安定的な供給が見込まれている。南九州産地・東北産地ともに生産は温暖な気候で鳥インフルエンザのリスクも少なくなってきたり、順調な育成となっている。一部産地では大腸菌症等の発症により処理羽数は少し減少しているものの、大きな生産への影響はないと推測される。 (3) 鶏肉消費も緊急事態宣言の延長もあり、飲食店等の時短営業やイベント需要の落ち込みも懸念されるが内食需要は堅調な荷動きが継続され、国産チキンの消費は底堅いと推測される。ただし、供給が順調な中で昨年と比較して需給が少し緩んできていると懸念する声も聞かれる。
	2. 輸入 (1) 財務省5月28日公表の貿易統計によると2021年4月の鶏肉(原料肉)の輸入量は5万157トで前年比7.4%増と、前月の5万5626ト(前年比119.1%)に続き、5万ト台となった。直前の日本食肉輸出入協会の予測では4万6,400ト(同99.3%)としていたので2か月連続で予測を大きく上回る輸入量となった。世界的に新型コロナウイルス感染症の影響もあり、中国等での輸入買い付けの増加等の動きや国内での今後の動向を見据えた内食のさらなる需要の高まりを見込んでの輸入量の増加と推測される。 (2) 鶏肉調整品についてはタイからの輸入量が増加しており30.3千ト(112.4%)となっている。国内の需要回復を見込んでの買い付けだと思われるが、緊急事態宣言やまん延防止等重点措置から国内の外食自体の需要回復はまだ時間がかかると考えられる。また、ミャンマーの情勢不安からタイにおける鶏肉生産へ影響が出るのではないかとの声が聞かれている。
需要	1. 家計消費 (1) 総務省統計局発表の家計調査報告によると、令和3年4月は、全国一世帯当たりの3畜種生鮮肉の消費(購入)数量4,337g(前年比86.4%)、金額6,214円(同88.7%)と、前月同様に前年を下回った。鶏肉は4月に入っても家計消費は堅調ではあるが数量1,556g(同86.2%)・金額1,384円(同87.9%)とも前年を下回った。また、加工品についても加工肉全般で金額1,517円(同94.2%)と前年を下回っている。鶏肉・豚肉ともに量販店ではチラシ掲載での特売も徐々に見受けられるため、今後、消費が増加することを期待したい。
	2. 量販・卸 (1) 食品関連スーパー3団体の販売統計速報によると、令和3年4月の食品売上高は全店ベースで前年比94.6%と昨年度を下回った。一方で生鮮3部門の売上高も全店ベースで前年比92.4%、既存店ベースでも同91.7%と下回った。畜産部門の売上高は約1,125億円と全店ベース(同90.1%)、既存店ベース(同89.3%)とも前年を下回った。「家計消費が堅調であり、自宅調理傾向は継続しているものの、前年に保存性の高い畜産品の需要が急増した反動を受けた。豚肉や鶏肉は前年に続き相場高騰でもあり、輸入品を拡販する動きもみられたが、特に挽肉で前年との反動が大きかった。牛肉は国産牛や味付け肉に反動が大きいが国産相場の上昇により輸入肉の動きがよかった。ハムなど加工肉は前年からの反動減が顕著にみられる」と報告された。また総菜部門の売上高は全店ベース(同109%)は前年を上回り、既存店ベース(同108%)でも上回った。「前年は内食の急伸や通勤客の減少、バラ売り中止の影響で伸び悩んだため、今年は回復が見られた。中食ニーズには引き続き好調であり、サラダ関連や自宅で調理しにくい商品群、寿司類や揚げ物、天ぷらなど好調に推移した。「家飲み」向けの焼鳥やつまみ類も引き続き堅調。イベント関連のオードブルもやや回復傾向である」と報告があった。
	3. 業務・加工筋 (1) 日本ハム・ソーセージ工業協同組合調べによる令和3年3月度の鶏肉加工品仕向肉量は、前年比96.8%の4,563トとなった。うち国内物は同90.5%の3,628トと下回り、輸入物は同133.2%の935.5トと上回った。鶏肉加工品も一時的に減少はしたものの依然として内食での需要は高い水準であり、家計消費も堅調のため、国産原料の市況価格は高止まりしているが、中国等からの調整品輸入が減少していることを考えると国産物での製造量回復が期待できると思われる。量販店では大手メーカーの鶏肉加工品の特売も目にするため、需要の高まりも予測される。
在庫	1. 令和3年(2021年4月) (1) 推計期末在庫は国産31.7千ト(前年比116.4%・前月差+2.9千ト)、輸入品129.8千ト(同89.9%・同▲5.2千ト)と合計で161.4千ト(同94%・同▲2.4千ト)となった。昨年は緊急事態宣言の影響等もあり、国産品はチルド品の販売が好調であったこと、また、チルド品の不足により量販店向けで凍結品への代替えを行った影響もあり、在庫増の要因とも推測される。
	2. 見通し (1) (独)農畜産業振興機構の需給予測(令和3年5月27日公表)では、出回り量は国産136.3千ト(前年比93.8%・前月差▲6.2千ト)、輸入品51.7千ト(同124.4%・同+9.7千ト)と合計で187.9千ト(同100.6%・同+3.5千ト)となった。5月末の推定在庫は168.3千ト(同99.4%)、出回り量は179千ト(同102.5%)と在庫については4月末在庫並みで推移が見込まれる。6月以降についても在庫量、出回り量ともに同水準で推移すると予測される。国産鶏肉在庫については昨年度のような量販店での買い込み需要もないため、また、生産状況も順調に推移していることから、各品目積み増しになるのではないかと推測される。
相場	1. 令和3年5月動向 (1) 令和3年5月の月平均相場は、もも肉659円/kg(前月比▲19円)・むね肉303円/kg(同▲2円)正肉合計で962円/2kgと前月比で21円下回るも、前年比では99円上回った。もも肉は月初667円で始まり、上げ下げを繰り返す、月末には月内最大の下げ幅で▲7円の下げもあり、月末642円と25円安となった。前月同様に下げ基調となっている。むね肉も月初306円で始まり、300円台を維持しながら、月末は300円と6円安となり、少し下げ基調の兆しもあるが月平均で303円と前月並みで推移した。
	2. 見通し (1) 気象庁発表の向こう1か月の見通しによると、6月の気温も全国的に平年よりかなり高くなるとの予報で梅雨時期に入り、例年ではもも肉を始め、不需求期間に入る時期ではあるが引き続きコロナ禍で内食需要も軟調傾向であり、もも肉はやや下げ基調傾向となると思われ、月平均635円と予測する。むね肉についても、ミャンマーの情勢不安からタイにおける鶏肉生産へ影響が出るのではないかとの声も聞かれ、加工筋向けの供給も安定していることから、もち合いの月平均300円と予測する。 (2) 新型コロナウイルスのワクチン接種の効果が不透明であり、飲食業界は緊急事態宣言の再延長にともない低迷は継続すると思われるが、鶏肉相場は不需求期間(特にもも肉)に入り、需給が緩むことも考えられるが、内食需要は比較的順調に推移しており、5月同様に例年よりも高水準での推移が見込まれる。

実績									
生産状況									
単位:千羽、千トン、%									
	R3年4月推計実績		R3年5月計画		R3年6月計画		R3年7月計画		
	数量	前年比	数量	前年比	数量	前年比	数量	前年比	
入雛羽数	64,669	102.0%	62,961	100.7%	60,410	101.0%	63,829	101.7%	
処理羽数	61,996	100.2%	61,603	103.2%	60,521	100.8%	60,491	101.9%	
処理重量	188.0	101.3%	183.8	102.6%	179.7	101.2%	178.5	100.7%	

※参考資料: (株)全国食鳥新聞社発行「PMN」

輸入動向											
単位:千トン、%											
品名	鶏肉			調製品			合計			比率	
履歴	当年	前年	前年比	当年	前年	前年比	当年	前年	前年比	鶏肉	調製品
R3年1月	48.9	41.6	117.6	33.7	39.3	85.7	82.6	80.9	102.1	59.2	40.8
R3年2月	45.5	43.9	103.6	34.2	31.9	107.1	79.7	75.8	105.1	57.1	42.9
R3年3月	55.6	46.7	119.1	43.9	42.7	102.8	99.5	89.4	111.3	55.9	44.1
R3年4月	50.2	46.7	107.4	45.8	44.4	103.2	96.0	91.1	105.4	52.3	47.7
R3年累計	200.2	178.9	111.9	157.6	158.3	99.6	357.8	337.2	106.1	56.0	44.0

鶏肉の消費動向(2人以上の世帯)						
単位:グラム、円、%						
履歴	数量			金額		
	当年	前年	前年比	当年	前年	前年比
R3年2月	1,428	1,402	101.9	1,359	1,310	103.7
R3年3月	1,528	1,617	94.5	1,406	1,451	96.9
R3年4月	1,556	1,805	86.2	1,384	1,574	87.9
R3年平均	1,524	1,546	98.6	1,405	1,411	99.5

※参考資料: 総務省統計局HP

相場(年別・暦年)			
単位:円			
	もも肉	むね肉	計
H26年	626	294	920
H27年	639	336	975
H28年	621	255	876
H29年	626	315	941
H30年	595	282	877
R元年	585	243	828
R2年	614	269	883

在庫状況(推定)									
単位:千トン、%									
履歴	国産			輸入品			合計		
	当年	前年	前年比	当年	前年	前年比	当年	前年	前年比
R3年1月	26.5	29.3	90.4	129.5	139.3	93.0	156.0	168.6	92.5
R3年2月	27.5	29.8	92.4	129.7	138.0	94.0	157.2	167.8	93.7
R3年3月	28.8	31.2	92.5	135.0	139.3	96.9	163.8	170.5	96.1
R3年4月	31.7	27.2	116.4	129.8	144.6	89.8	161.5	171.8	94.0

※実績参考資料: 畜産日報、農畜産業振興機構

相場(月別)									
単位:円、%									
品名	もも肉			むね肉			正肉合計		
履歴	当年	前年	前年比	当年	前年	前年比	当年	前年	前年比
R3年2月	701	597	114.3	305	253	119.8	1006	850	118.4
R3年3月	691	575	117.4	304	243	120.6	995	818	121.6
R3年4月	678	581	120.2	305	241	125.1	983	822	119.6
R3年5月	659	609	108.2	303	254	119.3	962	863	111.5
R3年6月	(635)	610	104.1	(300)	257	116.7	(935)	867	107.8
R3年7月	(620)	598	103.7	(300)	261	114.9	(920)	859	107.1
R3年平均	688	597	115.2	306	251	122.0	994	848	117.2

※()は見通し ※1-5月平均